

平成29年度第2回熊本県公立大学法人評価委員会 議事要旨

- 1 日 時 平成29年8月9日(水) 13:30~15:00
- 2 場 所 県庁本館13階 展望会議室
- 3 出席委員 小野委員長、木村委員、久峨委員、縄田委員、増永委員
- 4 議 題 (1)平成28年度業務実績評価についての審議
(2)第2期中期目標の期間の終了時の検討に係る意見聴取

5 会議の内容

議題(1) 平成28年度業務実績評価についての審議

【主な質問・意見とその回答】

小野委員長	事務局から説明があった議案について、御意見はないか。
木村委員	(61)について、評価委員会の評価は「B」でよいが、コメントの一文が長い。もう少しわかりやすく書いた方がよい。
小野委員長	他に意見がなければ、概ねこの事務局案のとおりでよろしいか。
他の委員	(了承)
小野委員長	では、(61)のコメントを修正した最終案を事務局に作成していただき、その確認は私に一任していただくことでよろしいか。
他の委員	(了承)

議題(2) 第2期中期目標の期間の終了時の検討に係る意見聴取

【主な質問・意見とその回答】

久峨委員	資料2-3の検討結果について、2つ意見を申し上げたい。1つは、(2) 継続・発展を期待する事項の(5)について、案では学生に対する経済的支援と限定しているが、就職支援や心身に障がいのある学生への支援など学生に対する支援は様々なものがある。「経済的支援」に限定するのか、その他も含めた「学生に対する支援」とするのか、御検討いただきたい。 もう1つは、この5項目の中に「国際化」の視点が入っていない。「国際化」を追加してはどうか。
事務局	検討結果は、年度評価と認証評価から導いているが、検討結果は少し広げて考えることも可能かもしれない。
増永委員	広げ方を注意しないと特別とか独自性がなくなり、意味合いが変わることがある。
縄田委員	このような検討は民間企業でも実施している。期間を設けて計画を立て実行し、次の計画を立てる作業には、前の計画の期間が終わる1年前から取り掛かるものである。このとき、前の計画の終了時点を見込んで実績を

	<p>把握し、過去の実績は持っておきながら今後予想される社会的な背景や、大学でいうと少子化の問題など未来に向けた背景の部分も踏まえて、合わせて計画を立てていく。</p> <p>ここは決め方の問題だと思うので、評価結果から検討結果を導くというのであればこれでいいと思うが、評価結果に将来的な背景も踏まえて検討結果を導くというのであれば、今後やるべきことまで入れた方がいいと思う。</p>
小野委員長	「国際化」はどこかに入れた方がいいと思う。
縄田委員	年度評価の主な成果の中に「国際化」という項目を入れてはどうか。
増永委員	次期中期目標にも入っているので、私も「国際化」を入れた方がいいと思う。
木村委員	先日開催された国際シンポジウムも非常に有意義なものであった。
小野委員長	教員の長期海外研修制度の充実もある。
事務局	資料2 - 4の4ページの4番に国際化に関する取組と成果を記載している。そこから成果を拾い出して年度計画の主な成果に追加する。また、検討結果の継続・発展を期待する事項にも追加する。
小野委員長	<p>話を戻すが、学生に対する経済的支援のところはいかがか。</p> <p>去年は地震もあったので、一番目立ったのが経済的支援だったかもしれない。</p>
木村委員	資料1 - 2平成28年度業務実績報告書の全体的な状況では、学生生活支援という項目名で経済的支援や就職支援の実績をまとめて記載してあるので、「学生生活支援の充実」としてはどうか。
小野委員長	<p>生活支援だったら久峨委員のおっしゃる様々な支援が含まれる。</p> <p>「学生生活支援の充実」とすれば、9割くらいは経済的支援を想定するだろうし、他にもっと広い意味があるとも受け取れる。この意見でよろしいか。</p>
他の委員	(了承)
小野委員長	認証評価の改善勧告の改善状況について、枠外に記載してあるが、アスタリスクを付けてわかりやすい場所に書いてほしい。
事務局	(了承)
小野委員長	では、学生生活支援に文言を修正すること、国際化を追加すること、認証評価の改善状況をわかりやすく記載することについて事務局に修正作業を行っていただき、その後の確認は私に一任していただきたいが、よろしいか。
他の委員	(了承)